

紙幣鶴

齋藤茂吉

青空文庫

ある晩カフエに行くと、一隅の卓に倚よつたひとりの娘が、オウストリー 奥太利の千円紙幣でしきりに鶴を折っている。ひとりの娘というても、僕は二度三度その娘と話したことがあった。僕の友と一しよに夕餐ゆうさんをしたこともあった。世の人々は、この娘の素性などをいろいろ穿鑿せんさくせぬ方が賢いとおもう。娘の前を通りしなに、僕はちよつと娘と会話をした。

「こんばんは。何している」

「こんばんは。どうです、旨うまいでしよう」

「なんだ千円札じゃないか。勿もったい体ないことをするね」

「いいえ、ちつとも勿体なかないわ。ごらんなさい、オウストリー 奥太利のお金は、こうやってどん

どん飛ぶわ」

そうして娘は口を細め、頬ほおをふくらめて、紙幣で折った鶴をぶうと吹いた。鶴は虚空に舞い上つたが、たちま 忽ち しやうじやう 牀上しょうじやうに落ちた。

娘は、微笑しながら紙幣で折った鶴を僕に示して、※*Fliegende oesterreichische Kronen!*

“こういったのであった。この原語の方が、象徴的で、簡潔で、小癩こしやくで、よほどうまいところがある。けれども、これをそのまま日本語に直訳してしまつてはやはりいけまい。

この小話は、^{オウストリー} 奥太利のカアル皇帝が、^{スペイン} 西班牙領の離れ小島で崩じた時と、同じような感銘を僕に与えたとおもうから、ここに書きしるしておこう。

青空文庫情報

底本：「斎藤茂吉随筆集」岩波文庫、岩波書店

1986（昭和61）年10月16日第1刷発行

2003（平成15）年6月13日第7刷発行

底本の親本：「斎藤茂吉選集 第八巻～第十三巻」岩波書店

1981（昭和56）年～1982（昭和57）年

初出：「改造」

1925（大正14）年6月号

※底本巻末の相澤正己氏による注釈は省略しました。

入力：秋谷春恵

校正：高瀬竜一

2018年4月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作ら

れました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

紙幣鶴

齋藤茂吉

2020年 7月18日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>